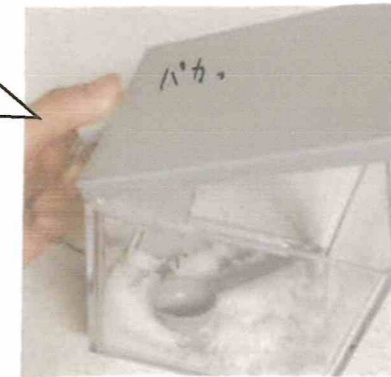


第59回富山県発明とくふう展 内容説明書 (令和3年度)

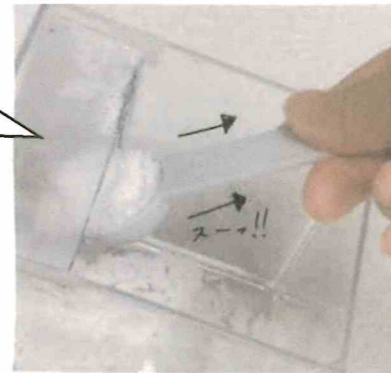
		受付番号	709	学校No.	291
ふりがな	なかしま みひろ		学校名	魚津市立西部中学校	
氏名	中島 未尋		学年	1年	
ふりがな	すりきれーる				
作品の名称	スリキレール				
(特徴)					
<p>きっかけは料理をしている母の一言でした。「このすり切り、早く簡単にできないかな〜。」料理をする際、容器に入った砂糖や塩などの粉の調味料を使うことがたくさんあると思います。容器から調味料を取り出し、棒などを使ってすり切りをすることを、調味料を使うたびに繰り返すことは、手間がかかって面倒くさいことです。また、さじ2分の1や3分の1であれば、なおさら大変です。そこで、別の道具も使わず、すべての操作を片手だけで調味料の量を調整できるようにしたのがこの「スリキレール」です。調味料の容器の上部にすり切り用の板を付けたことで、すぐにすり切りできます。また、板にスプーンの形に合わせた楕円形の板を付けました。これを使うことで、さじ2分の1や3分の1の量の調整をすることを可能にしました。</p>					
(使い方)					
①計量スプーンで調味料をすくう。      ②すり切り用の板ですり切る。					
〈すり切り2分の1の場合〉					
③計量スプーンの中央に楕円形の板をさす。					
④計量スプーンを90度回転させる。					
◇ 作品を作った動機や参考にしたものがあれば、下記 ( ) の中に○印をつけて下さい。					
① ( ) テレビ、科学雑誌、参考図書など					
② ( ) 発明くふう展、科学館、大学祭、各種のイベントから					
③ ( ) 講師や先生、両親などからヒントをもらった					
④ ( ) 発明クラブ、理科の学習、各種工作教室から					
⑤ ( ) その他、自分で考えた					

略図(鉛筆書きでもよい)又は写真を貼り付けて作品の特徴を説明して下さい。  
(※審査用にコピー(縮小)しますので、濃く見やすく作成してください。)

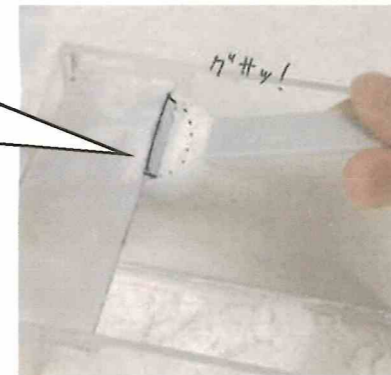
ふたは片手で開けることができる容器を活用しました。



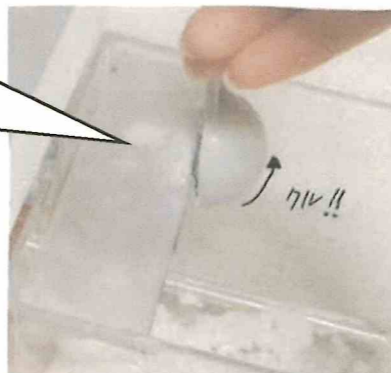
この板ですり切りをすることができます。



この楕円形の板で調味料の量を調整することができます。



計量スプーンを回転させることで、必要な分だけ容器内に戻すことができます。



【記載注意事項】

1. この説明書は、審査用、展示用カードとして用いられますので必ずご記入下さい。
2. 従来のも(方法)と比べて、どこを(何を)どのようにくふうしたか、要点をわかりやすく、図または写真でご説明下さい。
3. 改良くふう箇所が多ある場合、要点をしばってご記入願います。
4. この内容説明書は出品申込書と一緒に一覧表を添えて、令和3年9月21日(火)までに事務局へ提出して下さい。